

施設名	青梅市第一学童保育所以下7か所		
指定管理者名	株式会社こどもの森		
指定管理期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	担当課	子育て推進課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられないもの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告、四半期報、月次報告、現地視察、ヒアリング	A	協定にもとづき施設の設置目的に沿った運営に努めた。人員配置については、積極的に採用を進め、各クラブの人員配置に努めた。	B
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書、月次報告書	A	事業報告書、月次報告書は期日までに提出できていた。	B
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書、現地調査	A	開室前に安全管理チェックを実施し、施設の不具合や危険箇所の有無の確認を行い、安全性の確保に努めた。	A
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	事業報告、現地視察、ヒアリング	A	個人情報は鍵のかかる場所に保管し、不必要な個人情報は複数人で処理するなど適正な執行に努めた。	A
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告、月次報告	A	適正に作成・整理及び保管されている。	A
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	事業報告、ヒアリング	A	消防計画に則り自衛消防組織を編成している。連絡体制を掲示している。	A
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	事業報告、ヒアリング	A	全ての施設において避難訓練を実施している。	A
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告、現地調査	A	適切に管理している。	A	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告、月次報告	A	コロナウイルスの影響で未実施の事業もあったが、感染対策をしっかりと行った上で実施可能な範囲内で事業を行った。	A
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用児童の保育の状況は適切であるか など	事業報告、月次報告	A	児童の安全に配慮し、適切に保育を実施した。	A
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート	A	8月中旬にアンケートを実施した。	A
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート、研修、現地視察	A	アンケートにご回答頂いた利用者からは、概ね満足というご回答を頂いた。	B
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート、ヒアリング等	A	頂いたご意見を全施設で共有し、運営に反映することで、保護者から評価の声を頂いた。	A
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告、月次報告、ヒアリング	A	市と積極的に情報を共有し、相互理解を深めるとともに、学校との連携も進めていくことができた。	A
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告、月次報告、ヒアリング	A	コロナウイルスの影響で未実施の事業もあったが、感染対策をしっかりと行った上で実施可能な範囲内で事業を行った。	A

会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告	A	適切に管理している。	A
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告	A	適切に管理している。	A
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	事業報告	A	適切に管理している。	A
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	事業報告	S	適切に管理している。	A
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	事業報告	S	適切に管理している。	S
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	事業報告	S	適切に管理している。	S

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員配置については、積極的に採用活動を進め、各クラブの人員配置に努めた。2年目という事もあり、指導員の指導育成にも力を入れて保育の質を高めた。</li> <li>・市役所や学校の先生と情報交換を密に行い、学校と連携した学童保育所の運営を行っている。</li> <li>・コロナ禍で予定していた事業ができない事があったが、感染対策をしっかりと行い、実施した英語プログラムでは児童、保護者にも大変評価されている。</li> <li>・整備されたマニュアルをもとに、日々の危機管理や環境整備を徹底して行うことで安全性を確保した。</li> <li>・地震・火災・不審者の侵入などの状況を想定した避難訓練を実施し、学校主催の引き渡し訓練等にも積極的に参加している。</li> <li>・会社の財務については、専門家からも最高の評価を頂いている。</li> </ul>
A	18	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定や事業計画に沿って事業の実施や管理運営を行った。特に、自らが考え、行動し、児童自身が楽しめる学童保育所を目指した事業展開を行った。</li> <li>・指定管理業務2年目として、昨年度の課題を改善していくとともに、すべての支援員の保育の質の向上に努め、引き続きより良い学童保育の運営に努めた。</li> <li>・各種季節に応じた行事の実施や制作作業など、児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。</li> <li>・学校やタヤけランドと定期的に情報共有を行うなど、関係機関との連携した学童保育所の運営を実施した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策として、児童の体調管理や施設内定期的な換気や消毒の実施など、衛生管理を実施した。</li> </ul>
A	16	
B	3	
C	0	